



ラフティング安全対策書類

2026年4月改訂

- ・ラフティングについて
- ・会社概要
- ・実施河川／尻別川について
- ・運行規程
- ・ベースについて
- ・主な装備について
- ・ラフティングの流れ
- ・セーフティトーク
- ・リバーガイドについて
- ・事故時対応
- ・緊急時連絡体制
- ・河川周辺地図
- ・保険書類

北海道ライオンアドベンチャー

ラフティングについて



「ラフティング」とは、専用のゴムボートに乗って川を下るアウトドアスポーツです。ボートには必ずラフティングガイドとしての訓練を行った者が同乗し、ラダー(舵)をとります。川の形状や季節によって水量や流れの速さなどが変わるのでその時期に合わせた川下りを楽しむことができます。また、ライフジャケットやスーツなどをレンタルできるので普段川下りを行ったことのない方でも気軽に体験できます。

また、雨天時でも実施するため、天候によるスケジュール変更をする必要がなく、団体旅行にも向いております。

<ラフティングの意義>

ラフティングはチームビルディングでもあります。同じボートに乗った参加者同士が協力し合い、力を合わせてパドルを漕ぎ、波が立っている瀬をクリアしていくことで、同じボートに乗り合わせたメンバー同士の気持ちが一つになります。ゴールまで無事に楽しく漕ぎ切った後はすばらしい達成感を味わう事が出来るでしょう。

また、昨今は自然の中で遊ぶ機会そのものが減っている傾向です。自然の中で行うスポーツにはどうしても危険がつきものではありますが、自然に触れる体験をすることはとても大事なことです。実際に川や海に入って初めて分かる水の温度・流れの体感や、澄んだ空気を存分に吸って自然豊かな美しい景色を見た感動や記憶、その一つひとつが将来の糧になり、未来の地球を守っていく動きにきっと役立つものではないかと考えます。「どれだけ多くの美しい景色を残していけるか」という大きな課題を、他人事ではなく自分の事として捉えていただくために、私たちは体験を通してできるだけ多くの方にその素晴らしさをお伝えしたいと考えています。

その為にはまず第一に安全なツアーを行う事は不可欠です。リバーガイドは日々、川の状況や水量を常に確認し、多くのトレーニングを行っております。この安全対策書類では、詳細内容をご案内しております。

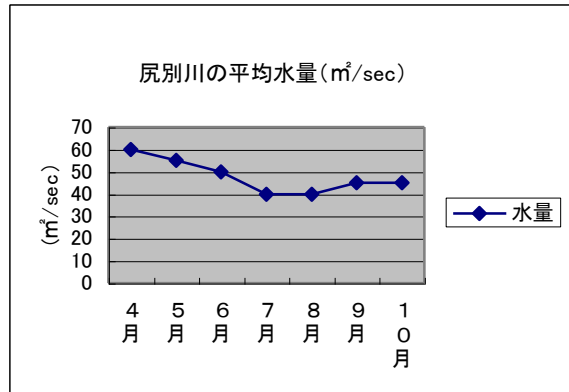
会社概要

会社名	株式会社 北海道ライオンアドベンチャー
住所	〒048-1512 北海道虻田郡ニセコ町中央通 60-4(ニセコベース)
電話・FAX	電話 0136-43-2882 FAX 0136-43-2883
代表取締役	下田 伸一
利用河川	尻別川
ガイド数	9名～12名(ドライバー込、年により変動)

実施河川 「尻別川」について

尻別川は、北海道南西部フレ岳に源を発し、羊蹄山の麓を流れ、日本海に注ぐ126kmの一級河川です。ラフティングで使用する範囲の形状は、緩やかなカーブを描き、左右に畑等がある為、人の出入りがやすく、携帯電話も通じます。救助が必要になった場合でも容易に救助ポイントへ迎えるようになっており、倶知安町の消防・警察機関とも連携が取れております。(別紙マップに救助ポイントを記載しております)コースからは羊蹄山をはじめニセコアンヌプリなどの連邦を眺める事ができ、北海道の自然を楽しむことでしょう。

幹川流路延長	126km
流域面積	1,640km ²
流域内人口	約 41,000 人



(尻別川について)

ラフティング時に利用するコースは季節により、夏コース・春コースに分かれます。

■春コース時期：4月～5月中旬ごろまで

■夏コース時期：5月中旬ごろ～10月下旬

◎ 学生団体の場合は、夏コースのみで運行します。

* 夏コース(倶知安コース)尻別川 中野橋～寒別橋～羊蹄大橋～富士見橋

● 実地調査

各月の尻別川の状況は概ね以下のとおりです。

月	気温	水温	水深	流量
5月	10℃前後	10℃前後	2m～3m	約 120 m³/s
6月	18℃前後	14℃前後	2m～3m	約 60 m³/s
7.8月	21～23℃前後	17～18℃前後	1m～3m	約 30 m³/s
9月	15℃前後	12℃前後	1m～3m	約 30 m³/s
10月	9℃前後	10℃前後	1m～3m	約 28 m³/s

● 水位観測所

・夏コースの場合は国土交通省所管の観測所データより、倶知安水位観測所(倶知安町高砂)の水位を基準にしています。



運行規程

・夏コース運行中止については、基準を以下のように定めています。

- * 倶知安水位観測所の水位が水防団待機水位(現在は 169m)を超えた場合
- * 羊蹄山麓に洪水・大雨など“警報”が発令された場合
- * 公的機関から中止要請があった場合
- * ツアーリーダー(TL)が気象条件、その他条件を考慮しツアー催行不能を判断した場合

・ツアー中止決定のタイミング

基本的にはツアー当日、開始時間の1～2時間前に判断を行います。

中止決定の際は、お客様をはじめ各関係機関に連絡を行い、代替え種目に切り替えます。

ツアー人数などにより別会場をご案内する場合がございます。

・熊などの出没に関して

熊については北海道全土に生息されてると思われます。万が一公的機関からの要請が出た場合は、その内容に準じる動きとなります。(現時点では倶知安町・ニセコ町に熊の出没により町民の外出や動きを制限するような要請が出たことはありません。)ツアー車には熊スプレーを携帯しております。

・ラフティング中止時の振替え種目

「エコ箸つくり&クラフト」などのクラフト系の体験種目をご用意しております。

※体験会場などの詳細は担当者よりご連絡いたします

※ラフティング中止時の振替え種目「エコ箸&クラフト」



ベースについて

集合場所となるベースは2か所あります。春コースの場合は主に「ライオン・ニセコベース」、

夏コースの場合は主に「ライオン・リバーベース」に集合します。(予約時に要確認)

- * **ニセコベース** 住所 北海道虻田郡ニセコ町字中央通60-4
電話 0136-43-2882
- * **リバーベース** 住所 北海道虻田郡倶知安町字富岡256-1
電話 0136-23-0055(電話は繋がりません)

リバーベースは、夏コースのスタート地点のすぐそば(道路向かい)にあるので、装備着用後すぐに移動が可能です。更衣室・トイレ完備



主な装備について

・ラフティングボート／

特殊強化ゴムでできた、8つの空気層をもつゴムボートで、衝撃に強く岩にぶつかったりしても破れることはまずありません。万一破れても、他の空気層が浮力を保持するので、沈むことはありません。



・ライフジャケット／

* PFD(ライフジャケット)は 川の流れの中でも十分に浮力を保持できるもの、スィフトウォーター(流水)用の浮力7~8kgを使用しています。

体重およそ120kgまで対応。

※現在は、Mont-bell のラフティング用ライフジャケットをメインに使用しています。(高い浮力と体格に合わせたフィッティングが可能なキャニオンラフター等)



・リバーシューズ／

* 河原を歩くのに最適なシューズ(底面がゴムになっているもの)を使用しています。

・ドライスーツ／

気温・水温が低い状況に適した、極めて高い防水性を備えたドライスーツです。手・足・首部分がゴム(ネオプレンやラテックス)になっているつなぎのようなスーツで水の侵入を防ぎます。(着る方の体型によっても防水性は変わりますので、完全防水とはなりません。)

サイズは 120~XXXL サイズまでありますので、小学生から対応可能です。ドライスーツの中に厚手の服を着ることで春や秋も冷えから身体を守ることができます。



・ヘルメット／

スィフトウォーター用を使用しています。必ず着用します。

・ パドル／シャフトにアルミの芯が入っていて折れにくいシングルブレードタイプを使用します。

・アレルギー対応

ゴムアレルギーの場合は、手・足・首まわりにラップをまいて、直接ゴム部分が当たらないように配慮しながらドライスーツを着用して頂きます。(多少の圧迫はありますので、ご自身のお薬等をお持ちください。)

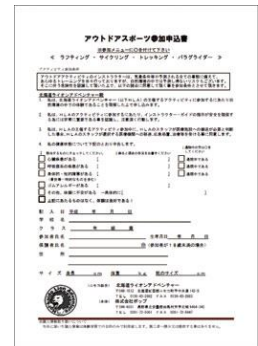
ラフティングのながれ ～団体様の場合～

(事前準備)

- * 事前に7名以内のメンバーで班分けを行い、当社指定の「班分け表」に記入。
- * 「参加申込書」(同意書)にサイン記入。

(18歳未満の方の場合は、保護者の同意が必要です)

どちらも、事前に担当者までお送りください。



【 当日の流れ 】

- 1) 観光バスにて、リバーベースに集合。
- 2) ガイドがバスに乗り込み、施設内などの説明をする。
- 3) バスを降りトイレや着替え等をすませます。
- 4) 班ごとに分かれ、担当するガイドの元に集合。
(ガイドが班番号の書かれたプラカードを持って立っています)
- 5) ガイドの指示により装備着用。
- 6) ガイドを先頭にスタート地点まで移動。(徒歩1分)
- 7) スタート地点にてセーフティーク実施。 ※セーフティークについては次ページ
(セーフティークとは、安全で楽しくツアーを行う為の説明です。こぎ方から川に落ちた場合の
流れ方やレスキュー方法などを詳しく説明します。)
- 8) ボートを水面に運び、乗り込みます。ツアースタート。
- 9) ゴール地点に到着後、ボートを降りてバスに乗車。その後、ベースへ移動。
(団体様の場合は、ご利用の観光バスをゴール地点からの回送にご協力頂いております。
座席を濡らさない為の防水シートや乗り込む際の足洗い用水・桶などをご用意しています。)
- 10) ベース内で装備をとり、着替えをすませ終了。



セーフティトークについて

セーフティトーク（事前注意事項）

ツアー催行前に参加者に対して以下の内容を全て、明確に説明し、理解を確認する。

- ・ 装備の必要性と正しい装着方法
- ・ 飲酒、薬物の服用、体調の確認
- ・ ボート各部の名称とシートポジション
- ・ ボートの取り扱い方法
- ・ パドルの使用方法とTグリップの危険性
- ・ 落水時の対処方法／ ホワイトウォーターセーフティポジション／ ディフェンシブスイム
パドルやPFDの取り扱い方法／ スローバックの使用方法／ 再乗艇の方法
- ・ ストレーナーの危険性
- ・ 川底の危険性
- ・ チームワーク
- ・ コマンドの説明（前漕ぎ、後ろ漕ぎなど）

リバーガイドについて

● リバーガイドとは

リバーガイドとは、ラフティングツアーにおいて、ゲストの安全確保を最優先に、巧みなパドルさばきでボートを操りながら楽しさを演出する川下りの案内役です。

● ボート配置

1ボートに1名ガイドが乗り8人乗りのボートを使用します。監視体制としまして、先頭にツアーリーダー、最後尾にサブリーダー、リバーベースに緊急対応の地上班として1名配置しております。

● ガイドトレーニング

トレーニングは随時行っております。また必要に応じてガイドミーティングを行い、レスキュートレーニング、スイムトレーニングなどを行っております。



● リバーガイド有資格

当社のラフティング・リバーガイドは研修要件に加え、日本リバーガイド協会のリバーガイド認定試験の合格者、かつ弊社のエクザミナーが認定した者となります。日ごろから徹底した川の調査やトレーニングを行い、増水、濁水、雨天、降雪、強風等あらゆる条件にも対応でき、また以下の水難救助や救命救急の資格を取得しております。また川のなかで障害物(岩、倒木など)にラップ(強い水圧ではりついた状態)した場合などに備えてシステム(流水における水難事故者救助の為の特別装備)も備えており、レスキュー3によるシステムを使ったトレーニングも受けております。各ツアーのリーダー(TL)はグレードの高い川でのガイド資格を持つ者、かつ、RAJシニアリバーガイド認定者が担当します。TLガイドは防水携帯電話を所持し、緊急時にはチェイス(地上班)、救急、消防とも連絡がとれるようにしております。

日本リバーガイド協会 (R A J)

ラフティングを主とするリバーガイドの資質や技術の向上と、水難事故防止や自然保護活動を目的とした団体で、当社および各ガイドはRAJに加入しております。



レスキュー 3

アメリカに本部を持つレスキュー専門の講習機関で、欧米では水辺で活躍する警察官や消防士にとって必須の資格となっています。



メディック・ファーストエイド (M F A)

国連世界安全機構でも認められ、世界規模のEMP(エマージェンシー・メディカル・プログラム)が講習を行うケガ、急病に対する応急処置の資格です。



上級救命講習

日本消防本部によって行われている応急処置技能認定講習、消防局消防本部が始動し認定する公的資格の一つです。日本赤十字社の赤十字救急法、救急員養成講習に相当する講習です。この講習はガイド及びオフィススタッフが毎年受講しております。

● リバーガイド規定

弊社のリバーガイドの要件を以下のように規定する。

1 リバーガイド研修生

- ・ 法的責任能力のある者。
- ・ 地元関係者と連携する協調性を持ち、良識のある社会人として行動できる者。
- ・ 心身ともに健康である者。
- ・ 常にクリーンリバーに対する配慮ができる者。

2 リバーガイド

- ・ リバーガイド研修生の要件に加え、以下の要件を満たし、弊社のエグザミネーターが認定した者。
- ・ 弊社規定のセーフティーク能力がある者。
- ・ リバーリーディングが行え、ストレーナーやアンダーカットなどの危険物を熟知している者。
- ・ ボートなどの機材、ガイド装備、レスキュー機材についての知識や使用方法に精通している者。
- ・ リバーレスキューに係わる知識や機材の使用 방법에精通している者。

3 ペースボートガイド(以下 PB、1stボートともいう)

- ・ リバーガイドの要件に加え、多くのガイド経験を持ち、ツアーの時間配分、ルート選択などの能力を有し、TL(ツアーリーダー)が指名した者。

4 スイープガイド(以下 SW)

- ・ リバーガイドの要件に加え、多くのガイド経験を持ち、川の構造に精通し、レスキュー技術に優れ、TLが指名した者。

5 トリップリーダー

- ・ リバーガイドの要件に加え、以下の要件を満たし、弊社のエグザミネーターが認定した者。
- ・ 多くの PB や SW の経験を有する者。
- ・ グレードの高い川でのガイド経験を持つ者。
- ・ ラップボートの回収経験者。

6 再研修制度

以下の要件に該当する者は、弊社エグザミネーター、運行責任者、部門長の判断でリバーガイド研修生に戻して再研修を行い、弊社エグザミネーターおよび運行責任者が認めるまでガイドすることが出来ない。

- ・ ツアー催行における遵守事項を守れない者。
- ・ 意図的ではないものの落水、フリップ、ラップをくり返す者。
- ・ ボートコントロールやカスタマーコントロールの能力が著しく欠けていると認められる者。

● ガイド装備

ガイドはツアー参加者の落水や軽度の怪我などに対応する装備やガイド同士がボート上で連絡を取り合う為の装備などを携帯しております。

<装備>

水温、気温に応じたウェア、PFD、ヘルメット、パドル、フットウェア
ホイッスル、カラビナ、フリップライン、リバーナイフ、スローバッグ

<役割に応じて所持する物>

- ・ 携帯電話、時計など
- また、陸上にいるドライバーはAED(対外除細動器)を所持しております。

事故時対応

< ツアー中に容態の悪いお客様がでた場合 >

ツアー催行中に具合が悪くなった対象者が出た場合は、その対象者のボートにいるガイドとツアーリーダー(以降「TL」)の判断・指示により、最短の連絡ポイント(別紙地図参照)に対象者を下ろし状態を確認します。※川の途中にはA～Lの12箇所のレスキューポイントを設定しており、各関連機関・他ガイドカンパニーでポイントの情報を共有しております。

対象者の状態が、ベースへ帰還し安静にするのか、または病院へ搬送するのか判断し、各関係機関に連絡を行います。ゴール地点に近い場所での判断になった場合は、ゴール後にすぐに処置や搬送が行えるように陸上待機スタッフなどに連絡を行います。

ツアーリーダーからの指示で陸上にいるスタッフが指定のポイントまで対象者を迎えに参ります。

同時に団体旅行に同行している保健師や教員または担当者の送迎も事務所スタッフ側で行います。

対象者が病院での検査が必要な場合は、病院へ搬送する等で対処します。搬送先は主に倶知安厚生病院などになります。病院への搬送が不要な場合は、ベースに戻り処置を行うなど対応を行います。

もし命にかかわるような状況の場合は救急車要請を行ったのち、救急隊が現場に到着するまでの間すみやかに応急処置を行います。その際に必要であれば数名のスタッフが対応に当たる事もある為、ツアーを一旦停止させる事もございますが、救急隊に引き渡し後ツアーを再開いたします。一連の流れにかなりの時間を有してしまった場合は、場所や状況に合わせてゴール地点の変更などを行う可能性もございます。状況の詳細は随時、事務所責任者へ連絡し各関連機関等へ通達されます。

処置がなされた後は、対象者の状態と団体様の次スケジュールに合わせ送迎を行うなど、柔軟に対応を行います。

< 事故が発生した場合 >

ラフティングにおける事故とは、想定外の場所での落水や気象状況(例えば落雷など)による事故が主な対象になります。落水の場合は、ツアー前のセーフティークにて救助の方法をレクチャーしておりますので、その内容に合わせて対応を行います。想定以上の事態が起こった場合は、ツアーリーダー(TL)を中心に迅速にレスキューを行います。レスキューに数名のスタッフを要する場合は、全体のツアーを一時停止する場合がございます。30分以上ツアーが遅れる場合は、事務所・各関連機関へ連絡し対処します。

自社でのレスキューが困難と判断した場合は、警察、消防、他社ガイドカンパニーの連携にてレスキューが継続されます。緊急時輸送先の倶知安厚生病院までは、各ポイントより5分から10分で到着いたします。

ツアー催行中の突然の悪天候については、ツアーリーダーの判断により途中でツアーを中止にする場合がございます。その場合はピックアップポイントなどを各関係機関に通達致します。

- **連絡ポイント地図（レスキューマップ）**

緊急時にボートから降りることの出来るポイントが記載された地図がございます。A～Lポイントまであり、ガイドが一番近い場所を選択し陸上班へ伝えます。このポイントは、倶知安町の消防団との情報共有がされているので、救急車を要請した場合にもポイント名で迅速に伝えます。詳細は別紙をご確認ください。

- **緊急時連絡体制**

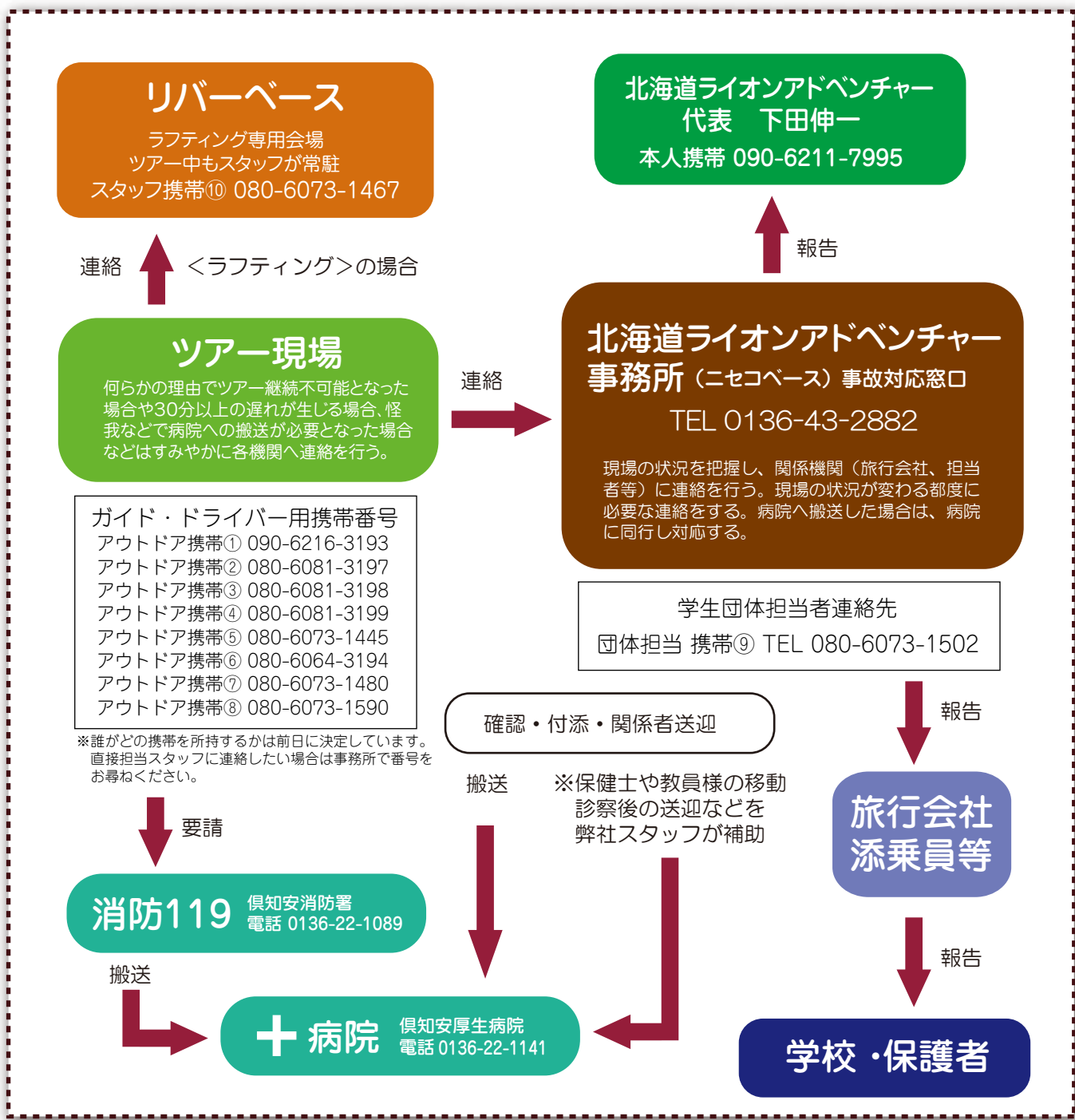
各関係機関へ連絡の詳細については、緊急時の連絡体制と電話番号を記載した書類をご用意しております。別紙「緊急時連絡網」を参照してください。

- **保険**

賠償責任保険、傷害保険に加入しております。

保険書類の詳細は別紙をご確認下さい。

北海道ライオンアドベンチャー／緊急時連絡体制



関係各機関連絡先

【病院】 倶知安厚生病院	0136-22-1141	【役場】 倶知安町役場	0136-22-1121
ニセコ医院	0136-44-2201	ニセコ町役場	0136-44-2121
【歯科】 二セコ歯科	0136-43-2225	【支庁】 後志支庁	0136-22-1111
菊地歯科	0136-44-1120	【施設】 二セコファイン	0136-58-3568
京極ようてい歯科	0136-41-2222	FANFUN	0136-43-2626
中川歯科医院	0136-23-2200	ベアーズパン工房	0136-58-3288
【保険】 倶知安保険所	0136-22-1111	ネイチャーライフ	090-4659-1528
【消防】 倶知安消防署	0136-22-1089	風の谷キャンプ場	080-6077-5978
ニセコ消防支所	0136-44-2354	カントリーファーム	0136-55-5564
【警察】 倶知安警察署	0136-22-0110	ニセコアウトドアセンター (NOC)	0136-44-1133
ニセコ駐在所	0136-44-2251		

Rafting

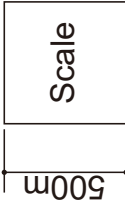
夏コース地図

summer course map

●体験学習実施場所周辺の病院・警察署・消防署

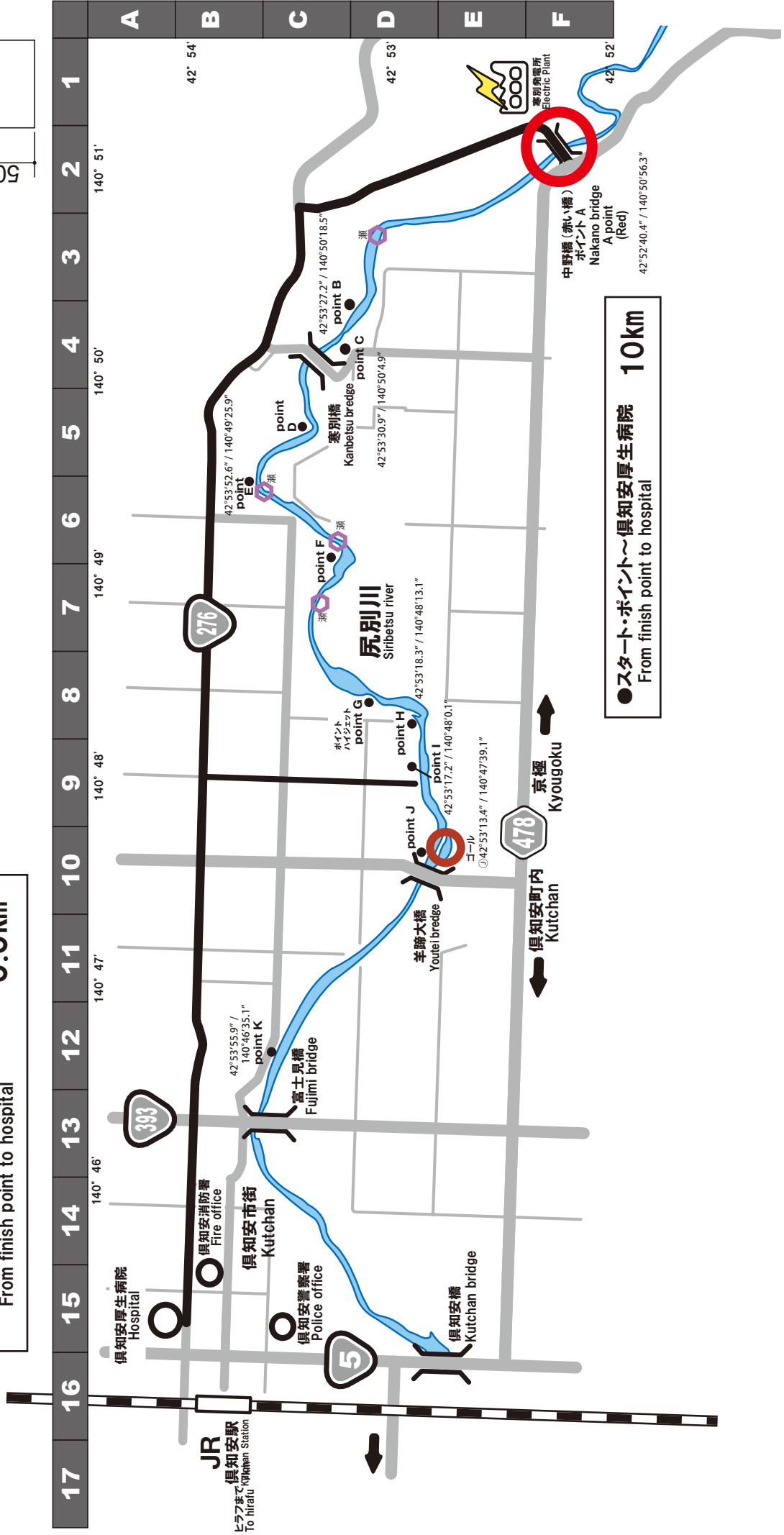
- 倶知安厚生病院 Hospital TEL (0136) 22-1141
- 倶知安警察署 Police office..... TEL (0136) 22-0110
- 寒別警察官駐在所 Police box..... TEL (0136) 22-5669
- 倶知安消防署 Fire office..... TEL (0136) 22-1089

500m



●フィニッシュ・ポイント～倶知安厚生病院
From finish point to hospital

5.5km



●スタート・ポイント～倶知安厚生病院
From finish point to hospital

10km

国内旅行傷害保険 三井住友海上

証券番号	NL28493253		国内旅行	二時払	変更	なし
保険期間	R070701-R080630 1年		扱	払込方法	事故	無
	AAD68 北海道 札幌二 1753		しりへし保険			
契約者	保険種類		国内旅行	二時払		
	R070701-R080630 1年		扱	払込方法		
	AAD68 北海道 札幌二 1753		しりへし保険			
申込日	〒	048-1512	TEL	0136-43-2882	領収証番号	BA71382253
住所	北海道 虻田郡 二セコ町 字 中央通 60-4		TEL	0136-43-2882	領収日	R070630
氏名	株式会社 北海道ライオンアドベンチャー*代表取締役 下田 伸一		TEL	0136-43-2882	支払期日	引去開始
団体	所属		社員	連絡先		
被保険者・補償内容			社員	連絡先		
契約方式	包括契約	被保険者数	130人正味被保険者数	保険金額	料率	保険料 (円)
セット名	団体類別	団体割引	団体割引	5,000,000円 / 650,000千		10,010
	団体割引区分			5,000円 / 650,000円		7,410
				3,000円 / 390,000円		22,490
住所	特約書のとおり					
氏名						
職業・職務						
職種コード	級別					
性別	生年月日					
特約	② 包括特約 (毎月・毎月) 戦争危険等免責一部修正					
第1回	保険料	同一割引				
第2回	保険料					
メリアメ適用	損害率割引	損害率割引				
特記事項	合計保険料					39,910
死亡保険金	住所	暫定・確定保険料			暫定	
受取人	氏名					

賠償責任保険証券

契約日 令和 7年 5月 14日 証券作成日 令和 7年 5月15日
証券番号 SC40762297
保険期間 令和 7年 6月 2日 午後 4時から
令和 8年 6月 2日 午後 4時まで 1年間

保 0 4 8 - 1 5 1 2
険 北海道 虻田郡 ニセコ町 中央通 60-4
契 株式会社 北海道ライオンアドベンチャー
約 代表取締役 下田 伸一 様
者 540 H9 SC4076-2297 RHG60GWTF 0 S

Table with columns: 払込方法, 大口分割 (口座振替), 分割回数, 払込期日, 所定の振替日, 記名被保険者, 記名被保険者数, 適用地域, 縮小支払割合, 週及日, 他の保険契約等

Main table with columns: 特別約款, 保険の対象・仕事・業務等, 特約, 補償項目, 支払限度額 (千円), 免責金額 (千円)

この保険契約における以下の事項については、この保険証券（添付書類がある場合は、添付書類を含みます。）
および普通保険約款・特別約款・特約において定めていますのでご確認ください。
○被保険者 ○保険金をお支払いする場合 ○お支払いする保険金 ○保険期間 ○支払限度額 ○保険金額
○免責金額 ○その他の補償内容等
この保険契約には、ご契約後にご連絡いただくべき事項（通知義務等）があり、ご契約締結時にご案内の保険契約の重要な事項に関する説明書類に記載していますのでご確認ください。
この保険契約の普通保険約款および適用される特約（自動セットされる特約および証券表示されている特約）の内容については、「普通保険約款・特別約款・特約集」および添付書類をご覧ください。

01/000041

一般賠償 SC40762297 H9 4
長野支店 長野支社
(RHG60) 050-34626482
事故受付ダイヤル0120-985-024 A
代理店・投資者/株主人アイル株式会社 5月
(GWTF) 0010 0005 1
026-225-8585
日報 RHG60-F244-00-1